



**ザビエル・スレシュ**  
Xavier SURESH

生体膜情報チーム  
JSPSフェロー



**原田 肇**  
Hajime HARADA

配列解析チーム  
テクニカルスタッフ



**中川 善一**  
Zenichi NAKAGAWA

タンパク質機能チーム  
技振協フェロー

1 JSPSポスドクフェローとしてインドから来ました。絵画に興味があり、旅行や音楽も好きです。

2 様々なタンパク質の活性部位におけるリガンドとの相互作用ルールを研究しています。まず、膜タンパク質とリガンドの関係から始めており、いずれゲノムレベルでリガンド結合部位予測へと広げる予定です。分子モデリングや創薬にも関心があります。

1 趣味は音楽で、JAZZを聞いたり、つたないですがピアノを弾いたりしています。

2 配列解析チームでは共発現遺伝子探索、比較ゲノム情報によるモチーフ抽出プログラムなどのツール開発に携わっています。こういったツールや開発作業が将来の研究に役立てばと思っています。

1 北海道の農業試験場に勤めていました。ネットサーフィンが趣味です。

2 酵素触媒機構データベースの作成のため、データの収集、入力を行っています。今後はデータの作成だけでなく、データベースの保守管理や設計、構築等についても学んでいきたいと思っています。

## お知らせ

### CASP6での好成績の記事

10号でもお知らせしましたCASP6での好成績がFEBS Journalの特集でも取り上げられ、CBRC-3Dチームが予測した立体構造モデルが表紙を飾っています。

[Ref.] Cozzetto, D., Di Matteo, A., Tramontano, A.: "Ten years of predictions ... and counting", *FEBS Journal*, 272, pp.881-882 (2005).



Courtesy: FEBS Journal

### 外部研究資金取得 (\*印は代表者)

- ・ 科学技術振興調整費『生命情報科学技術者養成コース』(秋山\*, 諏訪、広川、他)
- ・ NEDO『細胞アレイ等による遺伝子機能の解析技術開発』(秋山\*, 富永)
- ・ 三菱総合研究所『ncRNA (非たんぱく質コードRNA) の探索に関する研究』(金)
- ・ 文部科学省 科研費『ゲノム比較による、嗅覚受容体の発現機構の解明』(諏訪\*, ホートン、藤洲)
- ・ 文部科学省 科研費 基盤B『酸化還元酵素の立体構造に基づく触媒機構の網羅的解析及び分類法の開発』(長野\*, 塚本)
- ・ 文部科学省 科研費 成果DB『EzCatDB: 酵素触媒機構データベース』(長野)
- ・ 独立行政法人情報処理推進機構『未踏ソフトウェア創造事業』(中尾、他)

(上記のほか、民間との共同・受託研究等(5件)、公的資金継続(4件)があります。)

### SEVENSリニューアル

GPCR遺伝子の網羅的データベース「SEVENS」が生物種の範囲を広げリニューアルされました。

(<http://sevens.cbrc.jp/>)

### 人事異動

- 【退職】・ 池谷 鉄兵 (タンパク質機能チーム 産総研特別研究員) (4/30付) → JBIC 非常勤研究員 (首都大学東京 客員研究員)
- ・ 旭井 亮一 (細胞情報チーム 産総研特別研究員) (5/31付) → 凸版印刷株式会社 総合研究所 研究員

### AISTスーパークラスタ報告会

2004年3月産総研に導入された高性能(14Tflops)複合クラスタ計算機システム「AISTスーパークラスタ」の利用成果公開のため、4/25秋葉原にて掲題報告会が開かれました。



CBRCからは関嶋政和(タンパク質機能チーム 研究員)がプリオンの分子動力学解析について、福井一彦(大規模計算チーム 研究員)が糖鎖およびペプチドのレーザー誘起光解離シミュレーションについて成果を発表しました。

### BlueProtein

CBRCが2月に導入した eServer Blue Gene Solution (愛称: Blue Protein、理論最大性能: 22Tflops) が、スパコンの計算速度世界ランキング「スーパーコンピュータ・トップ500」([www.top500.org](http://www.top500.org)) で世界第8位に認定されました。

### BioJapan2005



国際的なバイオイベントであるバイオジャパンが今年は9/7~9、パシフィコ横浜にて開催されます。CBRCは昨年同様、AISTブースにて研究内容・成果の展示を行うとともに、セミナーでの講演も予定しています。是非お立ち寄りくださいませようお願いします。

### ニューズレター英語版2005発行

本誌CBRCニューズレター2004年度発行分を英訳しまとめたCBRC Newsletter English Ed.2005(全12頁)を発行しました。ご入用の方は、[cbrc-pr@m.aist.go.jp](mailto:cbrc-pr@m.aist.go.jp) までご連絡ください。

### +編集後記+

最近気になっているのが [sublime] という語です。単に荘厳な、雄大なという意味にとどまらず、そこには畏怖を伴うくらいのおどろきがあることを美術では表します。19世紀のロマン派の画家たちはこうしたサブライムな風景を求め旅をしましたが、サブライムの波はその性格上科学にはいつも押し寄せているのかもしれないと感じる今日この頃です。(土)

### CBRCニューズレター第12号/2005年7月1日発行

編集発行: 独立行政法人 産業技術総合研究所 生命情報科学研究センター  
〒135-0064 東京都江東区青海2-42 産総研臨海副都心センター別館 バイオ・IT融合研究棟  
TEL: 03-3599-8080 (大代表), 8056 (広報) FAX: 03-3599-8081  
E-MAIL: [info@cbrc.jp](mailto:info@cbrc.jp) URL: <http://www.cbrc.jp/>

禁無断転載